

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立大学機構 機構長あいさつ

2020年4月、岐阜大学と名古屋大学の2大学が法人統合し、「国立大学法人東海国立大学機構」がスタートしました。教育・研究を軸とした各大学の活動を基盤としながら、東海国立大学機構として一丸となり、東海地域における地域創生の中核拠点として、持続的発展が可能な社会の構築へ向けた活動を進めています。

地球温暖化をはじめとする気候変動に関する問題は、人類の最重要課題の一つとなっています。2021年7月には、全国の大学が国・自治体・企業などと連携強化を進める連合体「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」が立ち上がりました。東海国立大学機構はこれに全面的に貢献することとし、その推進体制として、同年11月に「カーボンニュートラル推進室」を設立しました。東海地域における大学・産業界・地域発展の好循環モデル「TOKAI-PRACTISS」構想を軸とし、両大学の強みを最大限に活用しながら、環境人材の育成、ゼロエミッション達成に向けた活動、自治体の脱炭素化支援、産学連携による社会実装、そして、これらの情報発信と国際的展開を積極的に進めていきます。

「東海国立大学機構環境報告書2022」では、カーボンニュートラルの達成に向けた取組のほか、環境に関連する研究、教育、社会貢献活動、学生の環



境活動などを様々な切り口で紹介しています。環境報告書を東海国立大学機構として発行するのは今年で2年目となります。これまで以上に機構として一体となって環境問題の解決に向けた取組を推進したいと思っています。

デジタル革命や科学技術イノベーションに伴って変化し続ける社会において、大学が果たすべき役割も刻々と変化しています。新たな大学モデルの構築に向けて、東海国立大学機構は新たなチャレンジを続けていきます。

東海国立大学機構 機構長
松尾 清一



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



TOKAI NATIONAL
HIGHER EDUCATION
AND RESEARCH



MAKE NEW STANDARDS
東海国立大学機構